

## データ分析を行った生産性向上システムの構築

### 1 概要

現在、加工を行う部門では、受注に対して担当者が手書きで生産スケジュールを立案している。最適なスケジュールを立案するためには熟練者であっても試行錯誤が必要となるため、多大な作業時間と精神的な苦痛を伴っている。また、担当者以外はスケジュールを作成できないため、休暇が取りづらく、職場の働き方改革が進んでいない。今回データ分析の専門家の協力を得て従来の作業の抜本的な見直しを行い、システム化することで生産性向上を図る。

### 2 実施内容と成果

自動スケジューラーソフトを構築し導入した。従来スケジュール作成に多くの時間を要していたが、システム導入により、注文書データをシステムに登録することで生産スケジュールが自動作成でき、作業員への作業指示も可能となった。作業員はタブレットにより作業を確認でき、作業終了後、ワンクリックで完了報告ができる。従来一部の管理者にしか分からなかった生産状況を、関係者全員がモニターで確認できるようになり、作業予定や在庫状況の把握ができ、売上予測も可能となった。

### 3 人材育成の取組

導入したシステムのトレーニングや、専門家によるDX研修を通じて、デジタル技術の活用やデータ活用の重要性について学んだ。デジタルツール導入により担当者の精神的な負担が軽減され、現場の状況をリアルタイムで可視化できたことで、全員が「今、何をすべきか」を即座に把握できる体制が整った。

